

地域子育て支援センター(おむらんど)



子育てしやすいまちづくり

こどもセンターでは、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない伴走型支援として、妊娠期には出産に関する相談を受けるほか、妊婦健診や産後健診費用の助成により妊婦をサポートし、産後は、産後ケア事業や乳児全戸訪問により、母親や乳児の健康を把握し、離乳食教室や乳幼児相談・幼児健診などを通じて、子どもの成長に応じた助言・指導を行っています。

令和6年3月には、大村市ポータルアプリ「おむすび。」の運用を開始し、子育てに関する各種相談予約や申請手続のデジタル化、予防接種や成長記録など母子健康手帳の機能、プッシュ通知機能を搭載することにより、さらなる子育てサポート体制の充実に取り組めます。

また、子育て家庭が安心して子どもを預けられるよう、教育・保育施設や放課後児童クラブを整備するとともに、**幼児教育・保育支援センター**による巡回相談や研修などの支援を通して市内全体の教育・保育力の向上を図っています。加えて、一時預かりや延長保育、病児保育、



赤ちゃん訪問で体重測定



こどもセンター(本町)

大村の子育て

母子健康手帳セット



幼稚園・保育園等施設数

(令和5年10月末現在)

幼稚園	(私立)	3
保育園	(公立)	1
	(私立)	19
認定こども園	(公立)	1
	(私立)	15
地域型保育事業		15
地域子育て支援センター		11
地域子育て支援事業(こども園)		8
放課後児童クラブ	(父母の会)	18
	(社会福祉法人)	30
	(NPO法人)	7
	(その他法人)	2

市オリジナル絵本



地域子育て支援センターなど、多様な子育て支援サービスを展開しています。

さらに、家庭相談員や母子父子自立支援員が子育てに関するさまざまな相談支援を行っており、特に、ヤングケアラー支援については、全国の自治体で初めて日本財団と協定を締結し、早期発見・早期支援に取り組んでいます。

保育園などへの入所にあたっては、こどもセンター内に保育コンシェルジュを配置し、相談対応を行っています。

また、乳幼児から高校生世代までの子どもの医療費助成、母子・父子家庭などの福祉貸付金制度、低所得世帯の学用品費助成などに幅広く取り組んでいます。

さらに、大村市婚活サポートセンターにおいて、結婚を望む独身者の出会いのサポートを行っています。

これからも「子育てしやすいまちづくり」を目指して、切れ目のない支援に取り組んでいきます。



婚活サポートセンター(プラットおおむら内)



保育コンシェルジュ